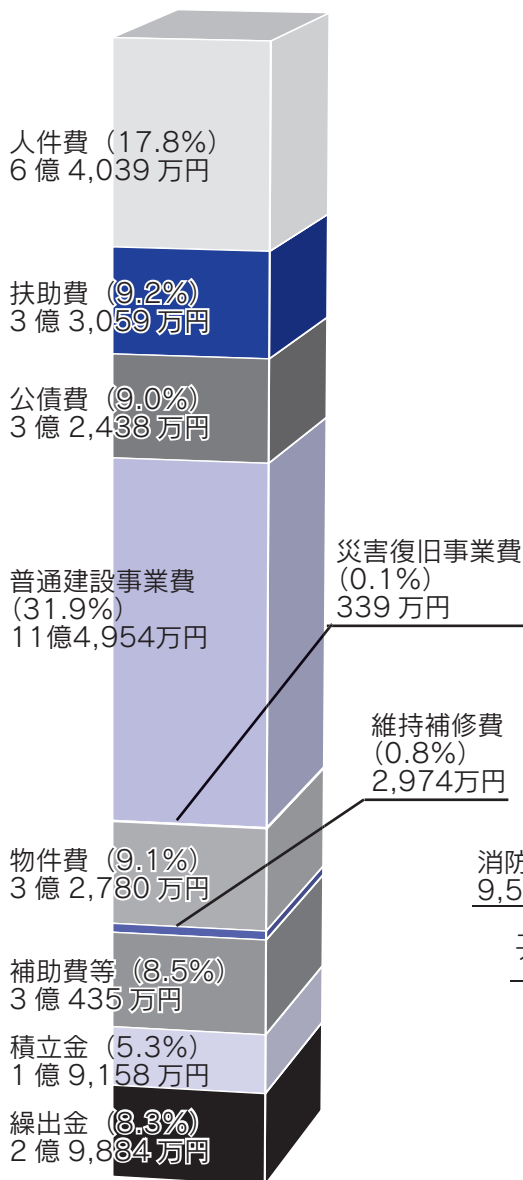
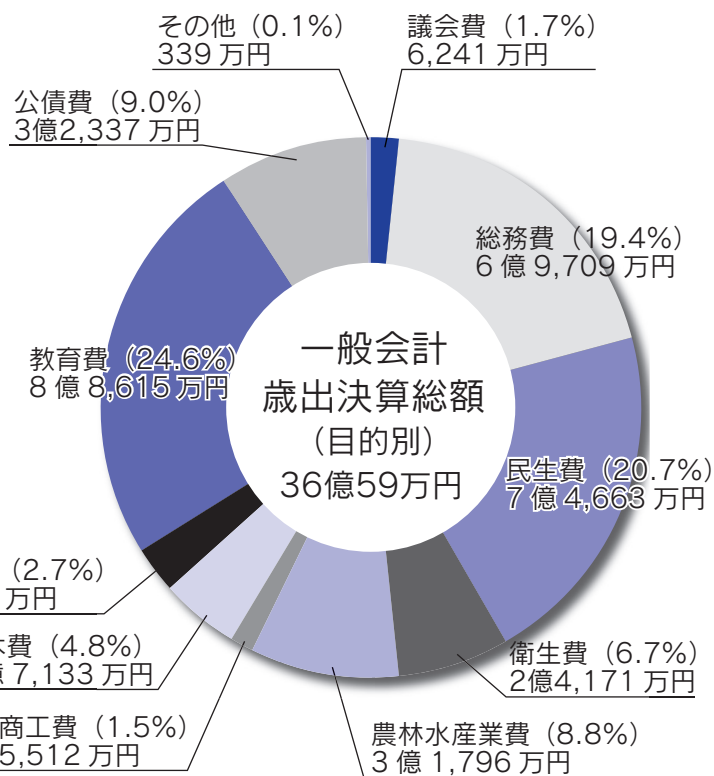


性質別



目的別では教育費、民生費、総務費、公債費の順となっており、性質別では普通建設事業費、人件費、扶助費の順となっております。また、普通建設事業費の内容は主に経済対策事業として津奈木中学校体育館改築工事や津奈木小・中学校大規模改修工事、さくら団地建設工事などを行いました。

歳出



一般会計
歳出決算総額
(目的別)
36億59万円

基金現在高	
一般会計	19億6,679万円
特別会計	11億7,154万円
国民健康保険診療費支払基金	3億8,266万円
簡易水道基金	5,042万円
介護給付費準備基金	1億1,335万円
介護従事者処遇改善特例基金	125万円
恒久対策事業維持管理基金	3億1,313万円
恒久対策事業運営基金	3億1,073万円
合計	31億3,833万円

地方債残高	
一般会計	26億8,672万円
町の事業によるもの	14億7,085万円
国の制度によるもの	12億1,587万円
特別会計	6,161万円
簡易水道事業	6,161万円
合計	27億4,833万円

平成22年度末の一般会計基金残高は19億6,679万円で、町民一人当たり37万2千円の貯金となっています。また、一般会計地方債残高は26億8,672万円で町民一人当たり50万円の借金となっています。この地方債には町の事業（道路、公営住宅、学校などの整備）のため借り入れるもの、国の制度（交付税や国庫補助金の振替え）によるものがあり、町の事業によるものは30%、国の制度によるものは全額が後年度の交付税により補てんされます。

基金・地方債